

## 総務文教常任委員会 報告案件一覧

報告案件は以下の通りです。

開催日// 平成29年 6月20日(火) 午前10時～ 委員会室			
部署	No.	報 告 案 件	
総務部	1	恵庭市姉妹都市等交流促進事業について	総務課
	2	災害対策本部訓練の実施について	基地・防災課
	3	自主防災組織等活動支援助成金について	基地・防災課
	4	組織マネジメント推進の進捗状況について(報告)	情報・事務管理課
企画振興部	5	地方創生関連交付金の効果検証について	企画課
	6	第6次行政改革推進計画に基づく平成29年度の取組みについて	企画課
	7	恵庭市におけるCCRC実現に向けた可能性調査及び方針(案)について	まちづくり推進課
	8	まちづくり拠点整備事業について	まちづくり拠点整備室
教育部	9	平成29年度教育関連施設等の整備実施について	教育総務課
	10	ふるさと教育宅配事業について	郷土資料館
選管			
監査			

## 恵庭市姉妹都市等交流促進事業について

### 1. 姉妹都市・友好都市との都市間交流の状況

#### <平成28年度>

- わき愛あいフェスティバルへの参加（10月29日～31日）  
恵庭市職員2名がフェスティバルに参加
- 友好JA事業連携協定の締結（11月5日）  
JA5名が参加、藤枝市長及び恵庭市副市長が立会い
- ふじえだ産業祭への出展（11月5日～6日）  
副市長及び恵庭市職員4名、民間団体4名が参加
- 恵庭市農業委員会委員の道外研修（12月5日～7日）  
農業委員6名と事務局職員1名が藤枝市・島田市を訪問し視察研修
- えにわ恵みのスイーツフェス（12月11日）  
藤枝×恵庭スイーツフェアで恵庭市内5店舗が出展
- 藤枝市体育協会・恵庭市体育協会交流事業（3月13日～15日）  
藤枝市体育協会11名が来恵し情報交換・視察
- 藤枝市俳句大会へ出展・入選（1月15日）  
恵庭市の俳句同好会より出展した俳句が最優秀賞に入選
- 藤枝市交流都市芸術祭へ出展（3月9日～12日）  
恵庭市文化協会より書道・絵画・写真・俳句などを出展
- 藤枝市体育協会・恵庭市体育協会交流事業（3月13日～15日）  
藤枝市体育協会11名が来恵し情報交換・視察

#### <平成29年度>

- ふるさと納税返礼品取り扱い（5月18日）  
藤枝市特産品（抹茶どら焼き・カステラ）を恵庭市ふるさと納税返礼品として取り扱い開始
- 地方創生推進交付金事業（5月31日採択）  
広域ネットワークによるブランド化プロジェクトが採択

### 2. 恵庭市姉妹都市等交流促進事業費補助金

#### (1) 目的

和木町及び藤枝市との交流事業を行う市民団体等への支援

#### (2) 対象団体・事業

経済・産業分野、教育・文化・スポーツ分野、地域福祉分野、地域づくり活動分野など様々な活動分野の市民団体等が、和木町及び藤枝市へ旅行し、または両市町の団体等を受入れて行う交流事業

#### (3) 対象経費・補助率

交流事業（食糧費を除く）に対し補助率3分の1以内（訪問事業は上限30万円、受入事業は上限10万円）

#### (4) 申請受付

- ①4～11月に行う交流事業について、4月1日～5月31日に1次募集  
1団体より訪問及び受入事業について申請があり、交付決定
- ②9～3月に行う交流事業について、8月1日～8月31日に2次募集

## 災害対策本部訓練の実施について

### 1 目的

ロールプレイング方式による実践的な訓練を通じて、災害対策本部員及び各災害対策部（班）の災害対処能力の向上を図る。

### 2 重点項目

- (1) 浸水害における災害対策本部の運営
  - (ア) 被害状況の把握・整理及び対策案の決定
  - (イ) 各対策における各対策部（班）間の連携
- (2) 防災関係機関との連絡調整

### 3 訓練日時及び場所

- (1) 日 時 平成29年7月25日（火） 9時00分～12時15分
- (2) 場 所 第1・第2・第3委員会室、301・302会議室
- (3) 内 容 浸水害対処訓練

### 4 訓練実施主体

恵庭市災害対策本部員及び各災害対策部（班）

### 5 訓練参加関係機関

北海道、陸上自衛隊第72戦車連隊、北海道開発局、北海道札幌方面千歳警察署、  
災害ボランティアセンター連絡会議  
※訓練参加機関については調整中

### 6 訓練方法

ロールプレイング方式 ※訓練シナリオは職員に開示しない。（ブラインド）

- 災害時に発生する様々な状況を付与し訓練の進行を管理する「コントローラー（北海道危機対策課等）」と、付与された状況に基づいて災害対策活動を実施する「プレーヤー（職員）」に分かれて訓練を行う。

## 自主防災組織等活動支援助成金について

## 1 平成29年度 申請状況

(継：継続事業、新：新規事業)

事業区分	補助対象者	補助対象事業	補助率	交付限度額	当初予算額	申請件数
継 (A)防災活動支援 (ハード)	既存の自主防災組織	・防災資機材の購入	10/10	30万円	120万円 (4件)	10件
継 (B)防災活動支援 (ソフト)	既存の自主防災組織	・研修会 ・防災マップの作成 ・防災訓練 等	10/10	2万円	24万円 (12件)	8件
継 (C)設立準備支援 (ソフト)	未組織の町内会等	・研修会 ・パンフレット作成 等	10/10	2万円	6万円 (3件)	2件
新 (D)防災倉庫設置支援 (ソフト)	既存の自主防災組織	防災倉庫設置に伴う 建築確認申請手数料 及び完了検査申請手数料	10/10	1万5千円	9万円 (6件)	2件

## 2 補正予算

■(A)防災活動支援(ハード) 300千円 × 6件 = 1,800千円

## 3 スケジュール

- ・4月1日～5月1日 事業募集 ※(B)、(C)、(D)事業は随時受付
- ・6月30日(予定) 内示・助成金交付申請
- ・7月14日(予定) 交付決定

## 4 自主防災組織(H26年度～H28年度は3月31日時点)

区分	H26	H27	H28	H29年5月末
恵庭市組織数	21団体	24団体	29団体	31団体
恵庭市カバー率	53.3%	59.7%	66.7%	68.8%

## 組織マネジメント推進の進捗状況について（報告）

## 1. 経過報告

平成29年3月22日	組織マネジメント推進本部会議：平成29年度取組方針決定
3月31日	平成28年度行動計画の各課自己評価の報告
4月14日	平成29年度行動計画策定・実行
4月27日	専門部会開催：平成28年度自己評価及び実績、29年度計画に対する評価
5月 8日	組織マネジメント推進本部会議：専門部会評価及び29年度各課行動計画の確認
6月20日	総務文教常任委員会報告

## 2. 平成28年度実績・評価結果

## 1. 目標及び自己評価結果

## (1) 行動計画の策定状況

(全60課)

行動計画	大区分	中区分（主な目標）	課数
① 事務の効率化（時間外勤務の縮減）			
① 事務の効率化	● 課内会議 ● 目標設定・進捗管理 ● 分担見直し・平準化	ほか	179
② 超過勤務時間の縮減	● 分担見直し・平準化 ● 事前申請徹底 ● 応援態勢構築	ほか	43
② 監査指摘事項の改善・共有化			
① 事務処理の適正化	● 情報共有・OJT実施 ● 全庁指摘事項活用 ● チェック強化	ほか	86
② 金銭等管理の適正化	● 窓口受領・納入方法適正化 ● 現金管理・団体会計適正化	ほか	18
③ 指摘のあった事項、課固有業務への対応	● 指摘事項、課固有業務対応（不納欠損処理、施設点検等）		4
③ 事故（再発）防止			
① 組織・職員・情報活用	● チェック強化 ● 課内会議・情報共有 ● 報告・連絡・相談	ほか	119
② マニュアル・研修等	● 乗車時確認・安全運転指導 ● マニュアル・工程表作成・共有	ほか	42
③ 固有事務事業への対応	● 施設・設備修繕計画作成・更新 ● 現場確認・安全指導	ほか	12

## (2) 目標に対する各課の自己評価結果

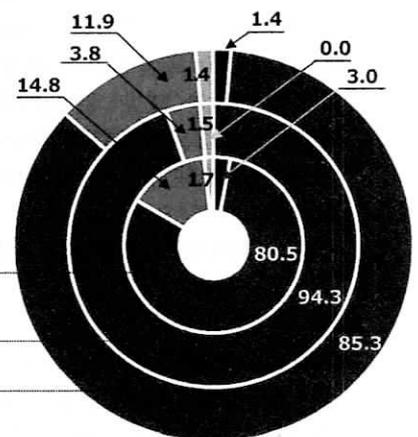
- 自己評価では3項目全ての行動計画に対して82%以上の課が、「想定を上回る」「ほぼ想定どおり」と評価した。
- 一方、「事務の効率化」や「事故防止」では、「期待通りの結果は得られなかった」「取組できなかった」と評価した課が13%以上になった。
- 自己評価に関しては客観的判断が難しいため、データ集計とともに専門部会並びに推進本部による評価を行った。

図1 自己評価結果

単位：%

- 凡例
- 想定を上回る結果
  - ほぼ想定どおりの結果
  - 期待通りの結果は得られなかった
  - 取組できなかった

- ① 事務の効率化（時間外勤務の縮減）
- ② 監査指摘事項の改善・共有化
- ③ 事故（再発）防止



## 2. 実績及び推進本部（専門部会）評価

## (1) 事務の効率化（時間外勤務の縮減等）

【実績】

## ① 総時間数の推移・職員1人平均

- ・ 総時間数の推移をみると、平成24年度の約4.7万時間が翌年度には1.3万時間増の約6万時間と大きく上昇し

(図2参照)

H26からは微減傾向が続いている。

- ・平成28年度の年間総時間数は約5.8万時間で前年比3,100時間・1人年6.1時間、率で4.7%減少した。

② 事前申請の状況

- ・平成28年度の総件数は1.6万件であり、事前申請の割合は42.7%。
- ・前年比で約700件増加し6.4ポイント改善した。

【評価】

- ・時間数の減や事前申請率の改善は見られたが、事務量変化もあるなど、直ちに組織マネジメントの取組の成果とは断定できない。
- ・終業時に、管理職が内容や時間の聞き取りをするなど、職員意識に変化が現れてきた。

(2) 監査指摘事項の改善・共有化

【実績】

(図3参照)

- ・平成28年度は、それ以前の2年間で90件台だったものが82件と10件程度、約12%減少した。
- ・一方、比較的重い指摘「指摘・指導」は増加。
- ・平成28年度の指摘では、債権管理の徹底や団体・指定管理者の会計処理への指導が比較的多かった。

【評価】

- ・依然として軽易な口頭注意が多く、同種の指摘が繰り返されてもいる。チェック機能の一層の強化が必要である。
- ・指摘等はしっかり受け止め、課内会議や場合によっては全庁横断的に検討する必要がある。

(3) 事故（再発）防止

【実績】

(図4-1・4-2参照)

- ・件数は平成23年度をピークに減少、平成26年度からは横ばいの40件程度で推移している。
- ・種別では、「保育園等」「市施設」の事故、「事務的ミス」が大きく減少、若しくは減少傾向にある。
- ・減少理由には、市が直接手をかけていない業務上の事故等の除外や、特定職種で事故報告基準を設定したことも一因。
- ・一方、「自動車関連事故等」が増加傾向にある。

【評価】

- ・事故原因を分析し再発防止策を講じること。
- ・特に車両事故に関して、原因分析と安全運転管理者による再発防止の検討・指導が必要である。
- ・法令順守意識徹底のために、管理職は業務上・日常生活を含めて、注意喚起、フォロー、指導が必要である。

図2 時間外総時間数・1人当たり年平均の推移

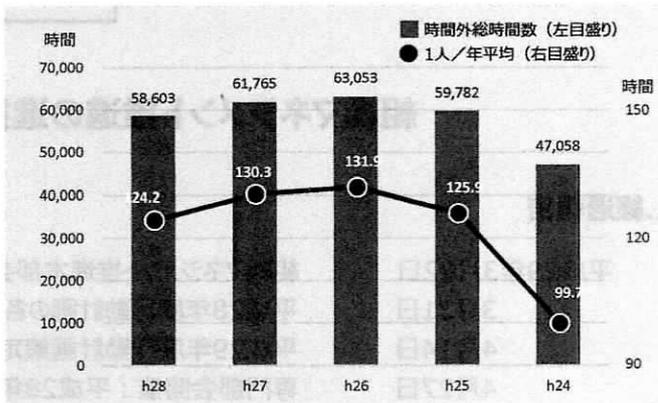


図3 監査指摘・指導等件数の推移

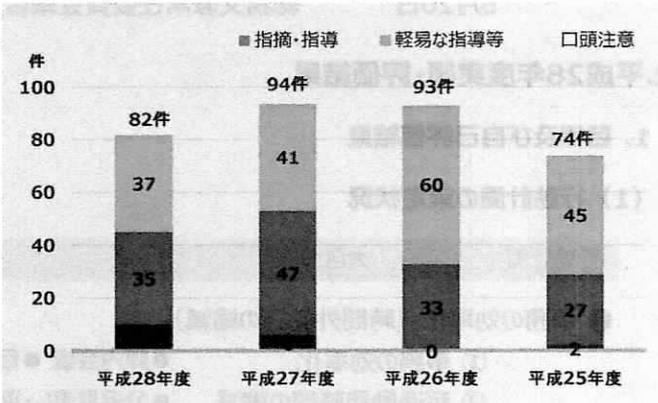


図4-1 事件・事故件数の推移

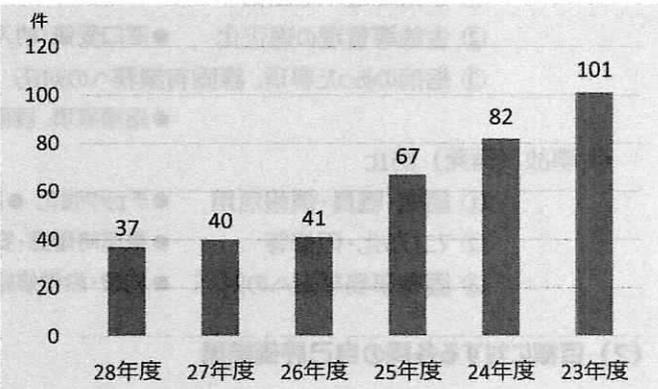
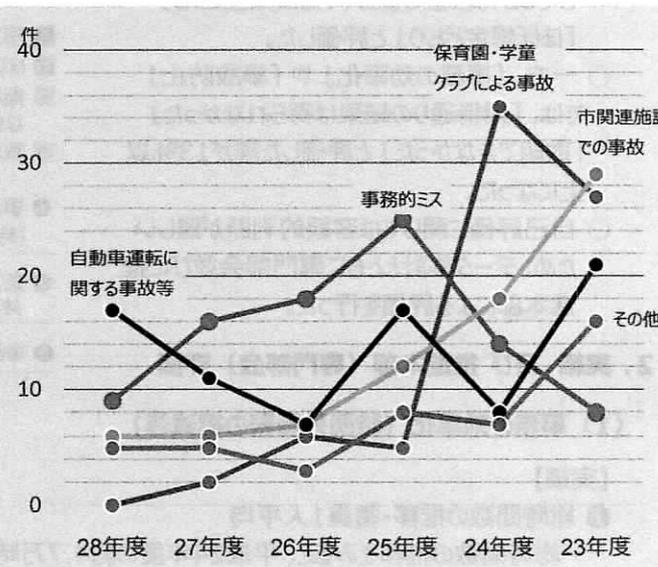


図4-2 事故等種別件数の推移



### 3.平成29年度取組方針及び行動計画（概要）

#### (1) 取組方針（抜粋）

- ・ 取組重点3項目は本年度も継続するとともに、新たに「接遇改善」を行動計画に追加する。
- ・ 前年度評価結果を、各課の行動計画に適切に反映する。
- ・ 組織マネジメントの推進を、人事評価制度（業績評価）における組織目標の一つとする。
- ・ 行政改革につながるよう事務事業の改善・効率化・縮小・廃止について、課内会議等で継続して検討する。
- ・ 時間外勤務における事前申請を徹底し、課長職は必要性や時間の妥当性を判断する。
- ・ 次長職は、行動計画に基づく各課の取組状況を把握する。
- ・ 詳細な事件等発生原因を分析し、具体的な再発防止策を講じる。
- ・ 課内会議の開催は月1回以上とする。

#### (2) 各課行動計画の概要

(全62課)

行動計画	大区分	中区分（主な目標）	課数
<b>① 事務の効率化（時間外勤務の縮減）</b>			
① 事務の効率化		●目標設定・スケジュール管理 ●分担見直し・業務量平準化 ほか	163
② 超過勤務時間の縮減		●事前申請徹底 ●応援態勢構築 ●分担見直し・平準化 ほか	67
<b>② 監査指摘事項の改善・共有化</b>			
① 事務処理の適正化		●情報共有・OJT実施 ●他課指摘事項活用 ●チェック強化 ほか	103
② 金銭等管理の適正化		●窓口受領・納入方法適正化 ●現金管理・団体会計適正化 ほか	21
③ その他		●指摘事項・課固有業務への対応	18
<b>③ 事故（再発）防止</b>			
① 組織・職員・情報活用		●チェック強化 ●課内会議・情報共有 ●報告・連絡・相談 ほか	134
② マニュアル化・研修等		●乗車時確認・安全運転指導 ●マニュアル・工程表作成・共有 ほか	54
③ その他		●施設・設備修繕計画作成・更新 ●現場確認・安全指導 ほか	9

#### (3) 今後のスケジュール

平成29年6月20日(火)	総務文教常任委員会報告
9月	部・次長等による進捗状況確認（人事評価ヒアリングに合わせて実施）
10月	専門部会による各課ヒアリング（中間評価）
11月	推進本部会議（中間評価）
平成30年1月	推進本部会議（翌年度取組方針検討）
3月	推進本部会議（翌年度取組方針決定）